

单孔式腹腔鏡下胆囊摘出術

— 腹腔鏡下胆囊摘出術 全国1位の実績 —

单孔式4,107例・2孔式2,933例

群馬県済生会前橋病院 外科・腹腔鏡外科センター

胆囊に石ができる病気を胆囊結石症といい、胆囊炎を併発することがあります。胆囊癌との関連性については、若干胆囊癌発生率が高いと報告されています。手術は胆囊を切除する腹腔鏡下胆囊摘出術が行われます。当院で開発した臍窓縦切開2穴式腹腔鏡下胆囊摘出術は通常の4穴式に比べて傷が半分以下であり、体への負担がとても少ない術式です。現在ではこれを更に進歩させた傷跡が全くない单孔式腹腔鏡下胆囊摘出術の比率が94%となっています。

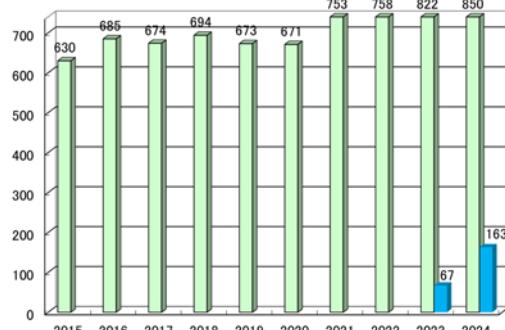
1.当院の腹腔鏡下手術・腹腔鏡下胆囊摘出術

腹腔鏡下手術を安全に行なうには、充分な経験が必要です。当院では内視鏡外科手術実績が豊富な医師を中心として、肺癌・胃癌・大腸癌・膵腫瘍・脾臓などいろいろな病気を鏡視下に手術しています。内視鏡外科総手術件数は、2024年までに12,739例に達しており、全国でも有数の数を誇り、鏡視下手術に起因する手術関連死は1例もありません(図1)。当初より傷跡が残らない臍窓縦切開法(最近全国でも注目されています)を行い、既に10,000例以上で本切開法を実施しました。

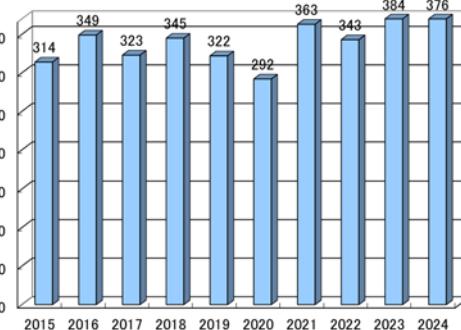
腹腔鏡下胆囊摘出術は1992年に開始。1997年、細内により皮膚を切開せずに挿入できる針型臓器把持器具ミニループレトラクターを開発。より低侵襲な2孔式腹腔鏡下胆囊摘出術を考案、開始。2009年までに2,223人に実施しました。

2009年6月からは傷跡が全く残らない单孔式腹腔鏡下手術を開始し、2024年までに4,144例を施行しました(図2)。最近では炎症が中等度までは单孔式(約94%)、炎症が特に強い人は2孔式(約6%)となっています(図2)(図3)。年間手術数は全国で2番目に多い実績となっています。

(図1) 内視鏡外科手術件数年次推移(総数12,739例)
(内ロボット230件)



(図2) 腹腔鏡下胆囊摘出術手術件数年次推移(総数7,060例)

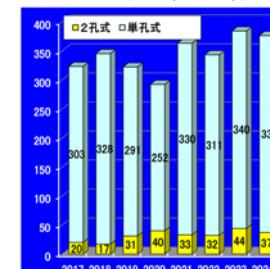


2.当院の腹腔鏡下胆囊摘出術の手順

- 1)術前処置の浣腸なし。苦痛となる鼻から胃まで挿入する胃管、お小水の管も挿入しません。
- 2)全身麻酔、トロッカ(おなかの外と中を連絡する通り道となる細長い筒)、ミニループレトラクターを挿入し、おなかの中に二酸化炭素を注入しスペースを作ります。一般的な病院では4箇所の切開創にトロッカを通しますが、当院で開発した術式は臍窓縦切開・2孔式といい、メスで切る小切開は2箇所のみです。单孔式術式ではメスで切る小切開は臍窓の一箇所のみで、ここから2本の5mm径トロッカを挿入します(図4)。臍のトロッカから挿入した腹腔鏡でおなかの中を観察しながら手術を行います。ミニループレトラクターで胆囊を2箇所把持し臍の5mm径トロッカから挿入した長細い器具で胆囊を摘出します(図5)(図6)。胆囊は臍部の傷から腹腔外に引き出します。
- 3)傷は皮下に吸収される糸で縫合するため抜糸は必要ありません。
- 4)手術翌日からシャワー・短時間の入浴が可能です。

(図3)

单孔式腹腔鏡下胆囊摘出術の割合
(2016年-2024年)



(図4) 单孔式



5mm径トロッカー2本
ミニループレトラクター

(図5)



お腹の中に二酸化炭素を入れスペースを作り手術操作を行います

(図6)



モニター画面を見ながら長い手術器具による体外からの操作

3.当院腹腔鏡下胆囊摘出術のメリット

1)傷跡が全くないあるいは目立たない

单孔式では傷を臍の中で切れますので手術後にこの傷は見えず、虫に刺されたようなミニループレトラクターの跡が僅かに残るのみで全く傷が残りません。2孔式では上腹部に5mmの傷跡が残るのみです。

2)手術後の痛みが少ない、回復が早い

傷が小さく少ないため、術後3時間で水分摂取を開始し、歩行も始めます。翌朝より食事を開始します。

3)入院期間が短い

入院期間は4日から5日間(希望に合わせます)で、社会復帰は5日から7日で可能です。予想される経過は別紙入院診療計画書をご参照ください。

单孔式術式術後の腹部

(手術翌日退院時)



4.どんな患者さんに腹腔鏡下胆囊摘出術は適応されるのですか、安全性は?

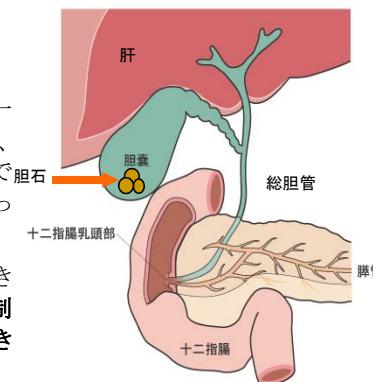
当院では急性胆囊炎を含め、炎症の程度、上腹部手術既往の有無を問わず、胆囊癌以外のすべての胆囊結石症および手術の必要な胆囊ポリープの患者さんに腹腔鏡下胆囊摘出術を行います。

1998年からの当院データは腹腔鏡手術完遂率は99.5%で、合併症も僅か0.6%でいずれも軽く、問題なく治癒しました。单孔式術式も経験豊富な外科医が施行すればきわめて安全性は高い術式です。

5.胆囊を取ってしまっても大丈夫なの?

胆汁は肝臓で作られ、一部はそのまま十二指腸に流れ、一部は胆囊にためられます。食事をした時に胆囊は収縮し、胆汁を十二指腸に分泌し消化を助けます。脂っこい食事では特に胆囊が強く収縮するため、胆石をもっている人は脂っこいものを制限する必要があるのです。

手術で胆囊を取ってしまっても胆汁は100%肝臓で作られきちんと十二指腸に分泌され続けますので、手術後は食事制限の必要がなく、日常生活も全く変わりなく過ごすことができます。



肺・胃・大腸・膵脾等、他の腹腔鏡下手術についてお知りになりたい方は、当院ホームページ(<https://www.maebashi.saiseikai.or.jp>)をご覧ください